

セキスイファイブロック® 遮音シート

取扱説明書

コンセントボックス用

国土交通大臣認定番号
防火区画貫通部認定:PS060WL-0750-0751-0874-0877
PS045WL-0752-0878


製品仕様

品名	品番	遮音シート(ボックス背面用)		遮音テープ(塗代カバー用)	
		サイズ(幅×長さ)	入数	サイズ(幅×長さ)	入数
ファイブロック遮音シート コンセントボックス用	TBCN001	120mm×1550mm	1巻	10mm×1550mm	3巻

- 鋼製および樹脂製のコンセントボックスにご使用いただけます。
- 防火区画部に使用される場合は、鋼製のコンセントボックスのみにご使用いただけます。

国土交通大臣認定シールのご案内

弊社では、防火区画貫通部の措置にファイブロックケーブル区画貫通措置部材をご使用いただいた場合、国土交通大臣認定を取得していることを示す『認定シール』をご用意しております。ご請求方法は、1現場ごとに弊社ファイブロックHP経由WEBでの申請または別紙『認定シール請求書』によるFAX申請にてお願い致します。申請内容を確認の上、ご請求枚数の『認定シール』を送付させていただきます。

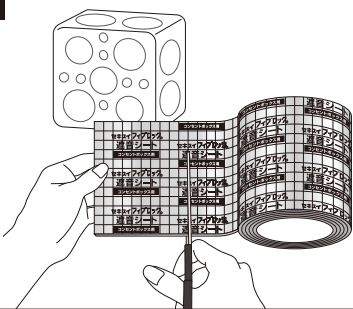


WEB申請はこちらから
<http://www.sekisui.co.jp/fp/>

標準施工方法

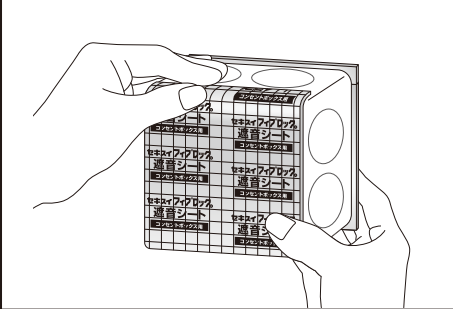
- 施工箇所の油分やホコリなどを拭き取ってから本製品を施工してください。

1



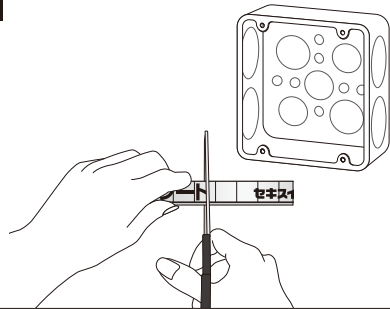
120mm幅シートを取り出し、コンセントボックスの幅に切って背面に貼り付けます。

2



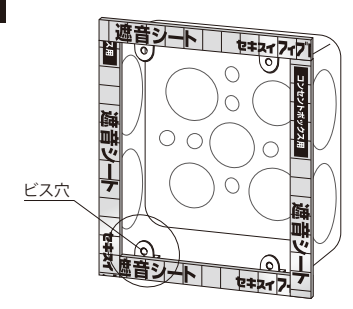
4×4浅型の場合は、上下10mm程度折り返してください。

2



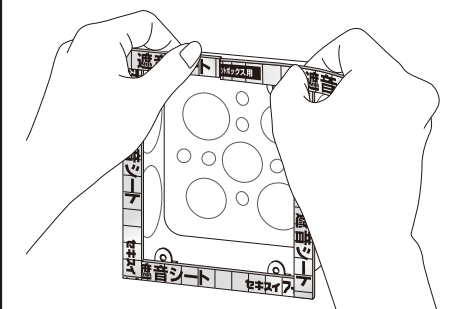
塗代カバーの長さに応じて10mmテープを切断します。

3



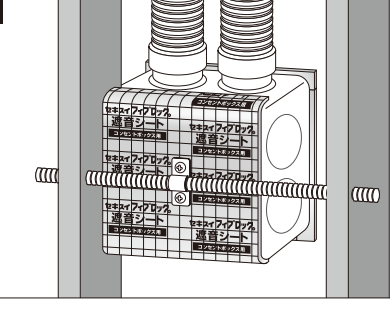
塗代カバーのビス穴を塞がないように注意し、四周にテープを貼り付けます。

3



テープが不足した場合は、隙間が出ないように継ぎ足してください。

4



最後にボックス支持材を取り付けます。シートの上からビスでコンセントボックスに固定してください。

※1.支持材を使用しない場合もコンセントボックス背面に貼り付けた遮音シートはビス等で固定してください。
※2.塗代カバーと壁の隙間が出来ないようにコンセントボックスを設置してください。(遮音性能上)

遮音シート(TBCN001)の施工箇所数目安

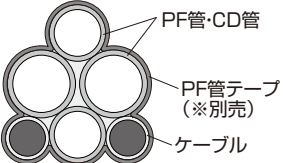


- 6個用までのコンセントボックスにご使用いただけます。



(単位:mm)

コンセントボックス サイズ	4×4浅・深型		大型四角浅型	1個用	2個用	3個用	4個用	5個用	6個用
	浅型(102×102×44)	深型(102×102×54)	浅型(119×119×44) 深型(119×119×54)	72×119×44	138×119×44	184×119×44	230×119×54	276×119×54	322×119×54
箇所数	10箇所		8箇所	10箇所	8箇所	7箇所	5箇所	5箇所	4箇所

適用範囲 耐火遮音工法

- 防火区画に電線管を貫通させる場合は下記の適応範囲をご参照ください。
- 耐火遮音工法の場合は樹脂製のコンセントボックスは使用しないでください。

国土交通大臣認定番号		PF管・CD管・ケーブル同時貫通可		
認定番号		PS060WL-0874	PS060WL-0877	PS045WL-0878
壁	仕様	①両面強化せっこうボード重張間仕切り壁(準耐火構造(60分)) ②建築基準法第2条第七号の規定に基づく耐火構造(60分)の壁		建築基準法第2条第七号の二の規定に基づく準耐火構造(45分)の壁
	厚さ	115mm以上	100mm以上	94mm以上
開口寸法	アウトレットボックス部	290×100mm以下	150×100mm以下	150×100mm以下
	電線管・ケーブル貫通	φ110mm以下 または 110×110mm以下		
アウトレットボックス	寸法(mm)	320(±4)×117(±4)×54(±4)以下 (1~6個用)	182(±4)×117(±4)×44(±4)以下 (1~3個用)	
合成樹脂製 可とう電線管	規格	JIS C 8411		
	種類	PF管・CD管		
	外径	φ36.5mm以下 (PF管28以下)	φ30.5mm以下 (PF管22以下)	
ケーブル	導体断面積 (ケーブル1本あたり)	22mm ² 以下		
充填材		セキスイ耐火パテII (NCJM005)		
PF管・CD管、ケーブル貫通部の PF管テープの巻き付け		 PF管・CD管 PF管テープ (※別売) ケーブル		
		 PF管・CD管へ、とも巻き可 PF管・CD管 PF管テープ (※別売)		
		 PF管テープ(※別売) ケーブル		

国土交通大臣認定番号		PF管・CD管		
認定番号		PS060WL-0750	PS060WL-0751	PS045WL-0752
壁	仕様	①両面強化せっこうボード重張間仕切り壁(準耐火構造(60分)) ②建築基準法第2条第七号の規定に基づく耐火構造(60分)の壁		建築基準法第2条第七号の二の規定に基づく準耐火構造(45分)の壁
	厚さ	115mm以上	100mm以上	94mm以上
開口寸法	アウトレットボックス部	284×92mm以下	146×92mm以下	
	電線管	φ110mm以下		
アウトレットボックス	寸法	320(±4)×117(±4)×54(±4)mm以下 (1~6個用)	182(±4)×117(±4)×44(±4)mm以下 (1~3個用)	
合成樹脂製 可とう電線管	規格	JIS C 8411		
	種類	PF管・CD管		
	外径	φ36.5mm以下 (PF管28以下)	φ30.5mm以下 (PF管22以下)	
ケーブル	導体断面積 (ケーブル1本あたり)	22mm ² 以下		
充填材		セキスイ耐火パテ (NCJM001)		
PF管・CD管、ケーブル貫通部の PF管テープの巻き付け		 PF管へ、1本ずつ巻き付け PF管 PF管テープ (※別売)		
		 PF管・CD管へ、3本までとも巻き可 PF管 PF管テープ (※別売)		

- 詳しくは各認定書をご確認ください。



認定書一覧はこちらから
<https://www.sekisui.co.jp/fp/technology/index.html>

◎電線管貫通部の施工

1.電線管の敷設

- 開口部を設置します(規定寸法以下)。
- 電線管を敷設し、開口部の所定の位置に「セキスイ耐火パテ(NCJM001)・耐火パテⅡ(NCJM005)」で隙間を充填します。
(セキスイ耐火パテ充填:PS060WL-0750,0751の場合/厚さ25mm以上,PS045WL-0752の場合/厚さ22mm以上)
(セキスイ耐火パテⅡ充填:PS060WL-0874,0877,PS045WL-0878の場合/厚さ22mm以上)
- ※注意:「セキスイ耐火パテ(NCJM001)・耐火パテⅡ(NCJM005)」以外の耐火パテや耐熱シール材は使用できません。

2.「PF管テープ」の巻き付け

- PF管テープを巻く位置の埃・汚れを除去します。
- 電線管に、「PF管テープ」を巻き付けます。
(PS060WL-0750の場合:電線管1本ずつ巻き付け)
(PS060WL-0751/PS045WL-0752の場合:電線管3本以下とも巻き可能)
(PS060WL-0874,0877/PS045WL-0878の場合:電線管・ケーブルとも巻き可能)

3.「PF管シート」貼り付け

- PF管シートに電線管の本数・サイズに合わせて切り目を入れてください。
- 開口部外周から上下左右とも規定寸法以上被覆できる位置に「PF管シート」を貼り付けます。
- ビス、タッカーを用いて「PF管シート」の4隅を留め付けます。

◎鋼製アウトレットボックス部の施工

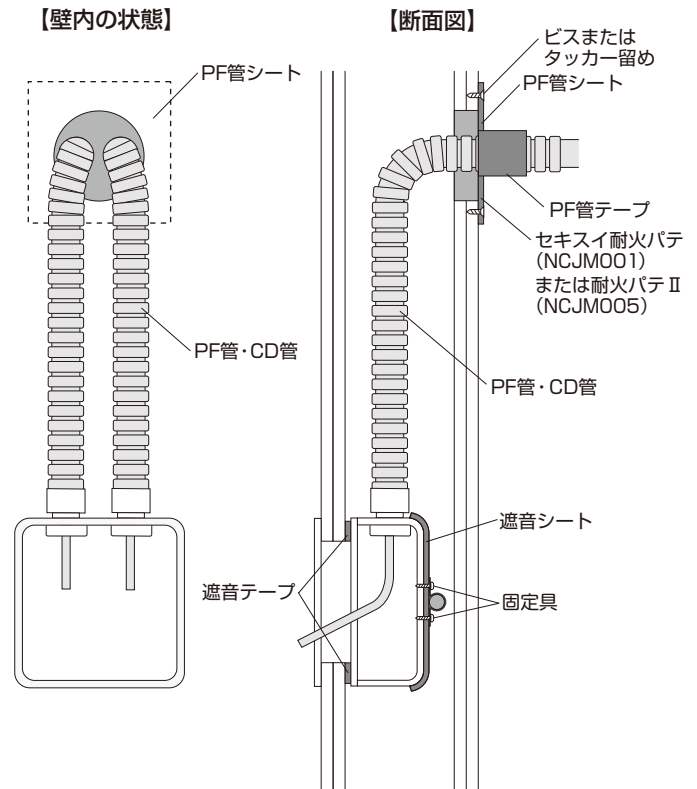
1.鋼製アウトレットボックスの設置

- 鋼製アウトレットボックスを支持金具を使用して壁下地材に取り付けます。
- ※注意:樹脂製アウトレットボックスは、使用できません。
- 開口部を設置します。
(PS060WL-0750の場合:284×92mm以下)
(PS060WL-0751/PS045WL-0752の場合:146×92mm以下)
(PS060WL-0874の場合:290×100mm以下)
(PS060WL-0877/PS045WL-0878の場合:150×100mm以下)

2.鋼製アウトレットボックスの端末処理

- ※注意:「セキスイ耐火パテ(NCJM001)・耐火パテⅡ(NCJM005)」の充填は不要です。

◎耐火遮音標準施工状態



注意事項

- フィブロックの用途、使用条件の詳細については各認定書・評定書、カタログをご確認ください。
- 水濡れや直射日光、高温下は避けて運搬・保管してください。
- 紫外線や水、薬品等のかかるところ、高温多湿の環境下、結露する場所では使用しないでください。
- 防水機能はありません。必要な場合には別途、防水処理を行ってください。
- 壁用・床用の条件があるものは、用途に合わせてご使用ください。
- ケーブルや電線管の支持機能はありません。別途、支持固定を行ってください。
- 内線規定を守って、施工してください。
- 防火区画貫通について不明な点は、所轄の行政機関へご確認ください。
- 床貫通部と壁貫通部の処理方法は、各々の大臣認定・消防評定に従って施工してください。
- 区画貫通措置以外の目的には使用しないでください。
- 必要に応じて、保護具を着用してください。
- 残材や使用後の廃材の処分は、法令及び地方自治体の条例に従ってください。

製造元 **積水化学工業株式会社**

高機能プラスチックカンパニー 耐火材料事業部
<http://www.sekisui.co.jp/fp/>

販売元 **積水マテリアルソリューションズ株式会社**

耐火資材営業所

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-3-6
TEL03(6744)5806 FAX03(6744)5807

●お問い合わせは上記連絡先にお問い合わせいたします。